

女性だけの見学会を支援

～入隊前フォローイベントに参加！～



きっちりと整頓されたアイロンが並ぶ



浴場の入り口



居室内のロッカーやベットを確認



栃木地本は「今後も、あらゆる手段を尽くしてフォローアップを行い、入隊前の不安を少しでも払拭し、安心して入隊していただけるよう入隊予定者へ寄り添ってゆく」としている。

女性自衛官教育隊（朝霞）へ到着すると、教育隊についての説明を受け、その後生活隊舎を見学した。居室の様子、ベットやロッカー、入浴施設やトレーニング器具など、実際に入隊したら居住する隊舎をものすごく見学し、「髪の長さはどれぐらいにしたらいいですか？」「持っていく方がいいものはありますか？」「ハンガーは必要ですか？」など、生活に必要な日用品など細かなことまで質問していた。参加した入隊予定者からは「優しい話し方をする女性自衛官の案内役の人を見て、少し安心しました。実際に生活するに当たり、疑問や不安に思ったことを聞くことができてよかったです。ありがとうございました」と笑顔とお礼をいただいた。

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤浩一 等陸佐）は2月4日（日）、女性自衛官教育隊入隊前のフォローイベントに参加した。このイベントは、約1か月後に女性自衛官教育隊に入隊する予定者たちに対し、入隊前の不安や疑問を払拭するために行われた見学会で、栃木地本からは女性の入隊予定者9名が参加した。



説明会の様子



日本の防衛の中核で同年代の隊員の姿に空自入隊予定者等大感激！

～航空自衛隊市ヶ谷基地見学ツアー～

自衛隊栃木地方協力本部募集課長（緒方3 空佐）は、2月4日（日）、栃木県内の航空自衛隊入隊予定者等7名を引率し、陸上自衛官の根本1曹、海上自衛官の東京1曹とともに、航空自衛隊市ヶ谷基地を訪れた。この日の宇都宮出発は、朝5時45分と早朝だったにもかかわらず、参加した入隊予定者等7名は皆明るく元気で、今回の市ヶ谷基地見学ツアーを楽しみにしている様子であった。

市ヶ谷基地到着後、外は雪が降りしきる極寒の中、市ヶ谷基地に勤務する隊員との懇談から始まった。要撃管制幹部、高射運用幹部、電算機処理員、総務特技員、人事特技員、厚生特技員、警務幹部、警備特技員・・・自己紹介が魅力について、自分自身の特技のやりがいを市ヶ谷基地で勤務する誇りを胸に熱く語ってくれた。

間近で見るとデジタル迷彩服姿の隊員を前に、入隊予定者等も緊張した面持ちであったが、そこは同年代、あつという間に打ち解け、さつきまで降り積もっていた雪も解けるほど、熱い会話が飛び交い、次の制服試着の時間まで食い込むほどの盛り上がりを見せていた。制服試着では、ブルーインパルスの特大パネルを背景に記念写真を撮り、入隊を間近に迎え、航空自衛官として勤務する期待と楽しみに溢れている最高の笑顔を見せてくれた。その後、入隊予定者等は、中部高射群第1高射隊市ヶ谷分遣班、東京気象隊、航空システム通信隊における部隊研修でも、専門用語の多さに戸惑いながらも、国防を担っている隊員の話、一言一句、聞き浅らさぬよう真剣に聴講していた。内務班研修では、整然と整理された居室に驚いた様子であった。



制服試着の様子



説明を受ける参加者



真剣に聞き入る参加者達

